

授業科目区分	授業科目名	授業方法	単位	時間	関連の深い授業科目
専門基礎	臨床医学総論	講義	4	80	解剖学・生理学・臨床医学各論 リハビリテーション医学、東洋医学臨床論、はりきゅう実技、臨床実習
学科・学年	担当教員名	科目関連実務経歴	実務経歴・分野・授業科目との関連等		
鍼灸学科 2学年	馬淵 正洋 竹村 千冬	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	特記事項なし		
授 業 目 標 *詳細な目標は、授業の冒頭で提示					
<p>ここで学ぶ知識は今年度実施される「臨床実習2」や翌年度に予定される「はりきゅう実技7・8・9」ならびに「臨床実習3」において実施される愁訴や疾患を主題とした診察ならびに施術練習の基礎知識という位置付けとなる。 なお本科目21～40回目に実施される内容はそのまま次年度の「はりきゅう実技7」の内容となる。</p> <p>【教育目標】 部位別・系統別の診察法を知り、症状・所見から病態や疾患名を推察できる方法を学ぶ。 症状別に分けた診察法を知り、患者の愁訴から診察の手順・診断の見通しを想起できる知識を養う。</p> <p>【行動目標】 ①本科目履修範囲内から作成された国家試験相当の難易度の多肢選択問題を正答率60%以上で解答できる。 ②症状や所見から想定される診察法や疾患名を述べるができる。</p>					
この授業の概要、助言、学習支援の方法 など					
<p>本科目の内容の理解には「解剖学」「生理学」の理解が必須となる。しかしながらそれらの履修が終わらぬうちに本科目の履修を行っていくため、それらの基礎医学科目の履修を待たずに各々学生自身で、身体の構造や機能を予習して疾患や愁訴の理解に備えたり、逆に本科目の疾患・愁訴の知識から身体の構造や機能に立ち返る復習を行ったりすることを勧める。それにより実技や実習時間で習う施術の修得効率向上に寄与する位置付けとなる科目である。</p>					
教科書・参考書					
<p>主題として取り扱う教科書は、東洋療法学校協会編「東洋医学臨床論」「臨床医学総論」 参考として扱うのは東洋療法学校協会編「臨床医学各論」「臨床医学総論・各論追加資料(Web版)」 更に本科目を理解する基礎知識として「解剖学」「生理学」の予習が役に立つ。 予定表中のテーマ欄には、場合によって主として取り扱う内容を【主題】として、また、主題の理解に参考となる内容を【参考】として各々の教科書該当項目とページ数を表記した部分がある。授業の回によって主となる教科書が本科目名と異なる場合があるので注意されたい。</p>					
受講時留意点、その他					
<p>【 全科目受講時共通事項 】※詳細は学生便覧受講における遵守事項参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ●病気その他止むを得ない事由以外での欠席はしないこと。 ●授業開始5分前には所定教室で待機し、指定された席で授業を受講すること。 ●授業中は私語、および授業内容に関係のない行為は自粛すること。 ●授業中の電子機器の使用は禁止する。但し、担当教員から許可を得た場合はこの限りではない。 ●当番は授業前後の準備、整理を行うこと。教室、実習室の整理整頓、採光、換気、節電に努めること。 <p>※注意 授業開始時間後の入室は職員室にて「授業開始後入室における聴講申請書」を記入し、記入した用紙を担当講師に手渡して下さい。 授業の聴講は許可しますが、出席簿は「欠席」扱いとなります。(公共交通機関遅延により遅延証明書がある場合のみ出席とみなします)。 いったん配布した資料の再配布は、資源節約の観点から原則として行いません。なお、これに伴い配布した資料の控えと欠席者分の未配布資料については、当該年度内に限り職員室で保管いたします。授業中に受け取れなかった場合は担任もしくは授業担当者に授業時間外に相談して下さい。紛失等で再配布を希望する場合は、控えを貸出いたしますので当日中に自己負担で複製下さい。</p> <p>【 受講科目受講時留意点 】 ●質問は随時受け付けます。授業以外の鍼灸臨床に関する質問もお受けします。</p>					
成績評価方法					
評価方法	評価割合 (%)	具体的な評価の方法、観点 など			
定期試験	100	定期試験を前期と後期の最低2回実施。難易度は国家試験相当として、合格基準を正答率60%以上とする。問題形式は4者択一の他に、必要に応じて他の形式も出題することもある。			
その他		追加で成績加算対象となる課題や試験を実施する場合は都度事前に告知する。			
(合計)	100				

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
1		01章診察の概要01診察の意義001-002(2) 02診察の 一般的心得002-002(1) 03関連用語の理解002-004(3) 04診察法の種類004-004(1)		/	竹村
2		01章診察の概要05診察の順序004-006(3) 06記録の 目的と内容006-007(2) 02章診察の方法01医療面接009-018(10)		/	竹村
3		02章診察の方法02視診019-019(1) 03触診020-021(2) 04打診021-023(3) 05聴診023-026(4)		/	竹村
4		02章診察の方法06測定法026-027(2) 07神経系の診 察027-028(2) 03章生命徴候の診察01体温029-031(3) 02脈拍031- 033(3) 03血圧034-036(3) 04呼吸037-039(3)		/	竹村
5		04章全身の診察01顔貌・顔色042-043(2) 02精神状態 043-045(3) 03言語046-047(2)		/	竹村
6		04章全身の診察04身体計測048-049(2) 05体型・体格 050-050(1) 06栄養状態051-052(2) 07姿勢と体位052- 054(3)		/	竹村
7		04章全身の診察08歩行054-056(3) 09皮膚・粘膜・皮 下組織057-064(8) 10爪の状態065-065(1)		/	竹村
8		04章全身の診察11リンパ節066-067(2) 12その他の一 般的状態 食欲・睡眠・排泄068-070(3)		/	竹村
9		05章局所の診察01頭部072-072(1) 02顔面073-073(1) 03眼074-078(5) 04鼻078-078(1) 05耳078-079(2)		/	竹村
10		05章局所の診察06口腔079-082(4) 07頸部082-084(3) 08胸部084-085(2)		/	竹村

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
11		05章局所の診察09乳房085-086(2) 10肺・胸膜086-087(2) 11心臓088-089(2)		/	竹村
12		05章局所の診察12腹部090-097(8) 13背部098-099(2)		/	竹村
13		05章局所の診察14四肢100-104(5) 06章神経系の診察01感覚検査法106-112(7)		/	竹村
14		06章神経系の診察02反射検査113-122(10)		/	竹村
15		06章神経系の診察03脳神経系の検査123-125(3) 04 髄膜刺激症状検査126-127(2) 05その他の検査127- 127(1)		/	竹村
16		07章運動機能検査01運動麻痺129-131(3) 02筋肉の 異常132-134(3) 03不随意運動134-137(4)		/	竹村
17		07章運動機能検査04協調運動138-139(2) 05起立と 歩行140-141(2) 06関節可動域検査142-142(1)		/	竹村
18		07章運動機能検査07徒手筋力検査法043-043(1) 08 日常生活動作144-144(1) 09徒手による整形外科的検 査法145-151(7)		/	竹村
19		予備		/	竹村
20		予備		/	竹村
授業外で試験実施					

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
21		【主題】東臨1疼痛04 関節痛 関節リウマチ,ベーチェット病,全身性エリテマトーデス,痛風,化膿性関節炎,ウイルス性関節炎,外傷性関節炎 090-099(10) 【参考】臨総27関節痛 229-231(3) 臨各07章代謝・栄養疾患 03尿酸代謝異常 高尿酸血症・痛風 117-118(2)、08章整形外科疾患 04筋・腱疾患 化膿性腸腰筋炎 142-142(1) 12章リウマチ性疾患・膠原病 01リウマチ性疾患 関節リウマチ 275-276(2),02膠原病 ベーチェット病 279-279(1),全身性エリテマトーデス 277-277(1)		/	馬淵
22				/	馬淵
23		【主題】臨総22 肩こり 223-224(2)		/	馬淵
24		【主題】東臨1疼痛05 頸肩腕痛 頸椎症,外傷性頸部症候群,頸椎椎間板ヘルニア,胸郭出口症候群,頸肩腕症候群 099-109(11) 【参考】臨総23頸肩腕痛 224-226(3) 臨各08章整形外科疾患 06脊椎疾患 椎間板ヘルニア 157-159(3),09その他の整形外科疾患 胸郭出口症候群,頸腕症候群・頸肩腕症候群 186-189(4)		/	馬淵
25		【主題】東臨1疼痛05 頸肩腕痛 頸椎症,外傷性頸部症候群,頸椎椎間板ヘルニア,胸郭出口症候群,頸肩腕症候群 099-109(11) 【参考】臨総23頸肩腕痛 224-226(3) 臨各08章整形外科疾患 06脊椎疾患 椎間板ヘルニア 157-159(3),09その他の整形外科疾患 胸郭出口症候群,頸腕症候群・頸肩腕症候群 186-189(4)		/	馬淵
26		【主題】東臨1疼痛06 上肢痛 橈骨神経麻痺,正中神経麻痺,尺骨神経麻痺,野球肘,テニス肘,狭窄性腱鞘炎(ドケルバン病) 109-119(11) 【参考】臨総25上肢痛 227-227(1) 臨各08章整形外科疾患 04筋・腱疾患 腱鞘炎(ばね指・ドケルバン病) 143-146(4),08外傷 スポーツ外傷・傷害 テニス肘 180-181(2),野球肘 182-183(2)、11章神経疾患 09末梢神経性疾患 圧迫性および絞扼性ニューロパシー(橈骨神経麻痺、正中神経麻痺、尺骨神経麻痺、総腓骨神経麻痺、脛骨神経麻痺) 265-268(4)		/	馬淵
27		臨各追加02神経・筋疾患 11絞扼性神経障害 橈骨神経絞扼障害 028-028(1),12絞扼性神経障害 肘部管症候群 028-029(2),13絞扼性神経障害 尺骨神経絞扼障害(ギオン管症候群) 029-029(1)		/	馬淵
28		【主題】東臨1疼痛07 肩関節痛 肩関節周囲炎(五十肩),野球肩 119-126(8) 【参考】臨総24肩関節痛 226-226(1) 臨各08章整形外科疾患 02関節疾患 五十肩 126-127(2),08外傷 スポーツ外傷・傷害 野球肩 183-184(2)		/	馬淵
29		【主題】東臨1疼痛08 腰下肢痛 腰部脊柱管狭窄症,脊椎分離・すべり症,腰椎椎間板ヘルニア,梨状筋症候群 127-136(10) 【参考】臨総26腰下肢痛 228-229(2) 臨各08章整形外科疾患 06脊椎疾患 脊椎分離症・脊椎すべり症 161-162(2),腰部脊柱管狭窄症 165-167(3) 臨各追加02神経・筋疾患 15絞扼性神経障害 坐骨神経絞扼障害(梨状筋症候群) 029-029(1)		/	馬淵
30		同上		/	馬淵

回数	開講 予定日	テーマ、内容、キーワード 教科書、配布資料	授業日誌	開講日	担当教員 (備考)
31		【主題】東臨1疼痛09腰痛 筋・筋膜性腰痛,腰椎椎間板症,椎間関節性腰痛,変形性腰椎症,腰椎圧迫骨折,変形性股関節症,運動性腰痛,仙腸関節痛 136-146(11) 【参考】臨各08章整形外科疾患 02関節疾患 変形性関節症 変形性股関節症 127-129(3),06脊椎疾患 腰部変形性脊椎症 164-165(2),腰痛症 167-168(2)		/	馬淵
32		同上		/	馬淵
33		【主題】東臨1疼痛10下肢痛 総腓骨神経麻痺,脛骨神経麻痺,シンスプリント,コンパートメント症候群,アキレス腱炎,足底筋膜炎 146-154(9) 【参考】臨各08章整形外科疾患 04筋・腱疾患 足底筋膜炎 143-143(1) 臨各追加02神経・筋疾患 16絞扼性神経障害 総腓骨神経絞扼障害 029-029(1)		/	馬淵
34		同上		/	馬淵
35		【主題】東臨1疼痛11膝痛 変形性膝関節症,骨粗鬆症,偽痛風,ジャンパー膝,オスグッド病,腸脛靭帯炎,鷲足炎,半月板損傷,側副靭帯損傷,前十字靭帯損傷 154-164(11) 【参考】臨各08章整形外科疾患 02関節疾患 変形性関節症 変形性膝関節症 129-130(2),03骨代謝性疾患・骨腫瘍 骨粗鬆症 133-135(3),08外傷 ジャンパー膝 184-185(2) 臨各追加11運動器疾患 偽痛風 070-071(2)		/	馬淵
36		同上		/	馬淵
37		【主題】東臨4その他02歩行障害 脳梗塞,脳出血,パーキンソン病 413-422(10) 臨各11章神経疾患 01脳血管疾患 脳梗塞(脳血栓、脳塞栓),一過性脳虚血発作,脳出血,クモ膜下出血 236-243(8),04基底核変性疾患 パーキンソン病 252-253(2)		/	馬淵
38		同上		/	馬淵
39		【主題】臨総28運動麻痺 231-232(2)		/	馬淵
40		予備		/	馬淵
授業外で試験実施					